

東部療育通信-2024年3月号-

入所と地域の障害児(者)の生活を支援するメールマガジン

発行東京都立東部療育センター<http://www.tobu-ryoiku.jp/>

日頃より東部療育センターのメールマガジンをお読みいただき、誠にありがとうございます。
ます。

今回は、経管栄養の考え方と、お薬の飲み合わせについてご紹介したいと思います。

「経管栄養とお薬」について

経管栄養は、食べたり飲み込んだりする機能等の低下が原因で、口から十分に食事を摂ることが困難な場合に用いられる手法です。また、感染症等により栄養摂取が困難な場合、一時的に口から食事をとることを中止し、チューブを挿入して栄養補給を行う場合もあります。

重症児(者)の経管栄養には、経腸栄養剤そのものの特徴と、対象となる方の特徴をあわせて考え、できるだけその方の状態にあうものが選択されています。摂取エネルギーを重視すべきか、特定の栄養素を強化したいのか、胃からの排出状況やスムーズに排便できているか等々、何を優先するかはその人によって異なることから、全員が100%満足のいくものにならないこともあります。そのため、含有している栄養素のバランスを常に考慮し、不足しそうな栄養素については、欠乏症が現れる前に補充を行います。

経腸栄養剤は、それぞれ含有する栄養素が異なり、「それだけを投与すれば必要な栄養素がすべて足りる」というように作られていないものが多いです。亜鉛、銅、セレンなどの微量元素、水溶性ビタミン、カルニチンなどが不足しやすい栄養素です。また、不足だけでなく、摂り過ぎにも注意が必要で、例えば、亜鉛と銅は吸収において互いに拮抗(互いに効果を打ち消しあうようにはたらく事)することが知られています。良かれと思って亜鉛を多く摂取すると銅欠乏に、銅を多く摂取すると亜鉛欠乏になるため、注意が必要になります。この亜鉛と銅のような互いに拮抗する関係は栄養成分同士だけでなく、医薬品との間にも相性の悪い組み合わせがあります。

その一例として、肺炎や尿路感染症等に罹った場合、抗菌薬が処方されますが、抗菌薬の中には、一緒に服用する薬や食事(栄養素)のせいで細菌に対する効果が弱くなってしまう場合があります。

その代表的な抗菌薬として、レボフロキサシン®やミノマイシン®が知られています。これ

ら抗菌薬と、亜鉛・マグネシウム・アルミニウム・鉄・カルシウムを含む薬や食事と同時に飲んだ場合、効果が最大で75%減少してしまうことが報告されています。さらに、身体の中の抗菌薬の濃度が低くなるため、治りにくくなるだけでなく、その抗菌薬が効かない菌も発生する可能性があります。この場合の対処法は、飲むタイミングを同時ではなく、2時間程度ずらすことで解決します。

調剤薬局で薬をもらう際に、飲む時に注意が必要な薬が処方されている場合、薬剤師から説明があると思います。また自ら、「飲み合わせの悪い薬や食事はありませんか？」と聞いていただいても大丈夫です。最適なお薬の飲み方を教えてくれるはずですよ。

その他どのようなことでもかまいません。気になることがありましたら医師や薬剤師にご相談ください。

診療部薬剤検査科薬剤室 武田陽子

今回のメールマガジンはいかがでしたでしょうか？

ご意見・ご要望等ございましたら、遠慮なくお寄せください。

| I | N | D | E | X |

1：施設概要のページへ

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/outline/>

2：ご利用案内のページへ

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/guide/>

3：施設開放サービス

→http://www.tobu-ryoiku.jp/service/opening_service.html

4：薬剤検査科

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/guide/department/medicineinspect.php>

| 施設概要

- 東京都立東部療育センターは、重症心身障害児(者)の医療と療育を総合的に行う施設です。
- 少子化が進行する中であっても、心身障害児(者)は減少しておらず、また、障

害の程度は重度・重症化しています。更には、家族が高齢となったため家族介護が困難で施設入所を希望している方も増えています。

●一方で、できる限り住みなれた地域で在宅の療育を望んでいる障害者や家族の方達は多く、その支援の充実を図ることが一層必要となっています。このような状況に対応するため、重症心身障害児(者)施設が整備されていなかった区東部地区に設置することにしました。

→<http://www.tobu-ryoiku.jp/outline/>

◆このメールはmsw_trc@mtrc.jp のアドレスより配信しております。

◆送信アドレスは配信専用です。お問合せやお手続きは下記よりお願いします。

東部療育通信

発行：東京都立東部療育センター<http://www.tobu-ryoiku.jp/>

個人情報保護方針：<http://www.tobu-ryoiku.jp/privacypolicy.html>

問合せ先：<https://www.tobu-ryoiku.jp/inquiry.html>

〒136-0075 東京都江東区新砂3-3-25

TEL 03-5632-8070 / FAX 03-5632-8071

E-mail msw_trc@mtrc.jp

●配信がご不要の方は、下記URL にアクセスして下さい

<https://www5.webcas.net/gs/p/delete-user>

Copyright (C) TOBU RYOIKU CENTER. All Rights Reserved.